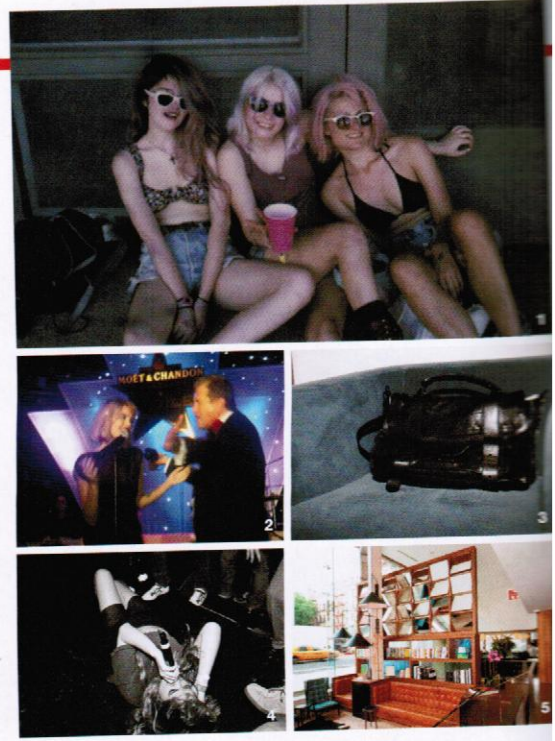




スカイ・フェレイラ/ミュージシャン。1992年7月8日生。LAのベニスビーチ出身で父親はブラジル人、母親はネイティブアメリカン。今年の3月にミニアルバム「As I!」をリリース、シングル「Obsession」は全米チャートでも上位にランクインした。CK Oneのほか、トミーヒルフィガー、H&M、アディダスなどのキャンペーンにも登場している。



1. 左がスカイ。気の置けない友人たちと。オフの日のスタイルは、ロックなエッジを効かせたLA系ゆるカジファッション。2. 最近出かけたパーティの会場ではフォトグラファーのマリオ・テストイーノとデュエットを披露! 3. 目下、愛用中のバッグはプロエンザスクーラーのPS1。4. バンクでロックなパフォーマンスにも定評が。5. NYでお気に入りのスポットは新しくオープンしたザ・ノリータホテル ニューヨークのカフェとラウンジ。http://nolitanhotel.com

★新世代の“ヴォーグ”な女たち。
Sky Ferreira

音楽とファッションに愛された
 LA発の刺激的新ミュージス。

Photos: Tiago Molinos (Portrait, 3)
 Text: Akiko Ichikawa

ヴォーグ ジャパンからの
 5つの質問。

- あなたが今、いちばん欲しいものは?
 睡眠とレコード!
- 5年後には、どこで何をしていたい?
 これからもいい音楽を作り続けて、世界中をツアーしてまわって、そして何よりもどきどき幸せでいたいわ。
- 今、もっとも注目している人は誰?
 ミュージシャンとしてインスパイアされるためには、いつも一般の女の子たちに注目しているの。でも答えとしては私のボーイフレンド、って言ったほうがキュートかしら?
- 女でうれしいと感じる瞬間とその逆は?
 いつも女の子でいるのは大好きなの。でも、私が女の子だからって理由で、軽くあしらわれるのは大嫌いだわ。
- あなたを救う魔法の言葉は?
 「天国では全てのことは上手くいくさ」(デヴィッド・リンチの映画「イレイザー・ヘッド」より)

友達だったとか。
 「ええ。母がヘアスタイリストで30年以上マイケルと一緒に仕事をしていたから、彼とは私が生まれたときからのつきあいだった。ゴッドファーザーといってもいいくらい。彼の、ネバーランド。にはよく遊びにいらっていて、お誕生会もあそこでやってもらったわ」
 — 彼が亡くなったときは、どんな気持ちだった? —

「もちろん!一緒に音楽も作ってほしい」
 — ボーイフレンドとは順調? —

「物心ついたころ、だいたい8歳ぐらいから作曲を始めていたわ。14歳でデビューして、ほかのミュージシャンに楽曲を提供するようになったのは15歳のときよ」
 — マイケル・ジャクソンともお友達だったとか。 —

「「ヴァンテージ」のレザージャケットにミュージウミュウのスカート、そしてボーイフレンド(ザ・バージンスのベリススト、ニック・アツカーマン)から借りたロックTシャツ! 私にとってのファッションアイコンはデボラ・ハリリーかな」
 — 今日着ているルックについて教えてください。 —

「NYの生活はどうですか?」
 「スビード感が心地いい。車を運転しないで、移動ができるのも便利だし。でも、ずっと海の近くに住んでいたから、ビーチが恋しくなることも多いの」
 — 音楽を始めたのはいつごろ? —

「「ジバンシイやミュウミュウ。この秋初めてパリコレに行ったの!自分が好きなデザイナーのショウも観られてすごく楽しかった。」
 — 好きなデザイナーは? —

最近ではOSCARの広告などモデルとしての活躍もめざましいスカイ・フェレイラ。LAで生まれ育った彼女がちょうど1年半ほど前にNYに引っ越してきた。そんな彼女の仕事や恋、そしてライフスタイルについて聞いた。
 — モデルとしてもたくさん広告や雑誌に登場していますが、音楽活動と両立していきたい? —

「そうね、ファッションも大好きだし、音楽とは違った環境に身を置くのも楽しいと感じているわ」
 — スピリット以外の尊敬するミュージシャンはいますか? —
 「マドンナ!一発屋的な人も多いけど、彼女はデビューから着実に成功してきている。私もそんなミュージシャンになりたい」
 — モデルとしてもたくさん広告や雑誌に登場していますが、音楽活動と両立していきたい? —